

1. 評価結果概要表

作成日 2007年12月20日

【評価実施概要】

事業所番号	1271800581
法人名	医療法人社団明生会
事業所名	グループホーム咲顔
所在地	〒283-0802 千葉県東金市東金1371-1 (電話) 0475-54-7720

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階
訪問調査日	平成19年12月20日
評価確定日	3月20日

【情報提供票より】(19年12月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年6月1日
ユニット数	2 ユニット
職員数	6 人
利用定員数計	18 人
常勤12人, 非常勤0人, 常勤換算12人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	2 階建ての 2 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他	食費45,000+水道光熱費20,000+実費	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(150,000円)	有りの場合償却の有無	有(期間:30ヶ月)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500 円			

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	16 名	男性	2 名	女性	14 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	7 名	要介護4	1 名		
要介護5	6 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	75 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東葉クリニック 東葉クリニック大綱脳神経外科 井合歯科
---------	-----------------------------

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

周囲には県立東金高校や、文禄3年に灌漑のためつくられた八鶴湖があり、落ち着いた雰囲気のに立つホームである。ホーム名の咲顔(えがお)は、花が咲くように自然に笑顔のこぼれるホームとなるよう、職員らが話し合っつけた。同ホームの一番の特徴は、人工透析をする高齢者の受入れをしていること。母体の東葉クリニックが透析専門で、ホームから無料で送迎もしてくれる。県内でも数少ない透析患者受入れホームであるが、地域密着型サービスになってからは、市外の入居希望者を受入れられなくなったのが悩みのたねだ。2ユニットのホームは1階がデイサービス、2階にグループホーム。入居者は歌を歌ったり、体操をしたり、料理をしたりと、思い思いに自分らしく生活している様子が見受けられた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	緊急時対応のスキルアップをという指摘に対して、救急蘇生の訓練、入居者の持病に関する学習などをおこなった。新人職員に対しては、月1回のケース会議の時などに管理者が意識的に質問して、習熟度をはかっている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、管理者が職員の意見を聞きながら作成した。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	過去4回開催。参加メンバーは、東金市高齢者支援課課長・上宿区区長・民生委員・入居者家族・ハイアットレジデンス季美の森ちば(特定施設)施設長・法人理事長・法人介護部部長。議題は入居者の様子や職員の研修参加報告など。市からは「ホームが中心となって地域交流を推し進めて欲しい」との要望を受けている。また民生委員からは、地域の高齢者に関する相談なども受けている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	主として面会時に、職員が家族の意見・要望を聞いている。苦情はそれほど多くはない。事業所全体のサービスの質に関する満足度調査などは特に行っていない。家族会は作っていない。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	東金市内でも高齢者が多い地区であるため、上宿区区長や民生委員らとは密接な交流がある。町会に参加しているので、地域の行事、祭り、清掃などに積極的に参加している。

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念「あかるく やさしく あたたかい介護」は、ホーム内外によく浸透してきているのが感じられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員はみな明るく、温かな雰囲気である。また本当の優しさとは何かをいつも考え、出来ることは自分でやっていただくなど、入居者のためになるケアを実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町会に参加し、敬老会・祭り・清掃活動などに積極的に参加している。高齢者が多い地域なので、民生委員らとも密に連携をとっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で指摘された、緊急時対応については、職員全員が救命救急の講習を受講した。自己評価は管理者が職員に意見を聞きながら作成している。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には地域の様々な方が参加し、過去4回開催している。ホーム内の状況報告をはじめ、市や民生委員からの要望を聞くなど、活発に意見交換がなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	東金市主催の地域密着型サービス事業所会議(GH5件・小規模多機能1件)に参加するとともに、ホームの空室・待機者情報を毎月、市に報告している。市職員がホームを見学に来ることもある。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、写真満載のホーム便りを家族に送付して、生活の様子を伝えている。体調の変化、日常生活上の必需品依頼などは、随時連絡している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	主として面会時に職員が話を聞いたり、運営推進会議で家族代表に意見を聞いたりしている。しかしながら家族全体に対する満足度調査などは行ったことがなく、意見・苦情もそれほど出ていない状況である。		家族は、親を預けている遠慮もあり、なかなか意見・要望等が出しづらいことと推察される。潜在的なニーズを探るべく、意見聴取の機会を工夫することが望まれる。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の定着率はよくなってきており、あまり離職はないとのこと。職員の入退職があるときは、綿密に引継ぎを行い、きちんと紹介するなどして入居者に混乱がないようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に積極的に申込みするほか、ホーム内でも透析患者に関する知識や血圧計の扱い方など、さまざまな勉強会を行っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東金市主催の地域密着型サービス事業所会議(GH5件・小規模多機能1件)に参加するとともに、他ホームの見学などを行って情報交換している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に何回か管理者が入居者の家を訪れ、顔なじみになってから入居してもらうようにしている。また、どうしても家に帰りたくなってしまった入居者には職員が付き添って家を見に行くなど、ご本人の気持ちを大切に対応している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者のADLを下げないよう、出来ること・出来ないことをしっかりと把握し、一方的なお世話にならないよう支援している。入居者は料理など、得意なことに腕をふるっている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントで入居者の希望を把握するとともに、日常的に今日は何をするか職員が話しかけて、入居者本位の支援を心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	「出来ることできないこと」、「1日の流れ」などを入居者個々に作成し、毎月の会議でケアマネと職員とで話し合いながら介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居時のアセスメントシートや日々の申し送りノートで入居者の情報を共有し、定期的および変化があれば随時、介護計画を見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1階部分に併設のデイサービスとの交流、病院への送迎、町の理美容院や訪問理美容の利用など、入居者の希望に応じて柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	夜間の緊急時は救急病院やホームの提携病院に受診する。昼間は、ホームの提携医、昔から馴染みのかかりつけ医のどちらでも、希望する方を受診できる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	まだ看取りの事例は無い。医療連携体制加算を受けているので、ホームで最期を迎えたいという場合は、本人、家族等と話し合いの上、対応する予定である。		過去の事例がまだないため、ホームで終末期を迎える入居者が出た場合、あわてず落ち着いて対応できるよう、日ごろから入念に話し合っておく必要があると思われる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者への言葉遣いや対応では尊厳を大切にしている。個人情報の保管は、決められた場所で管理している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者が思い思いの過ごし方で生活して頂けるように支援している。職員はあせらず、急がず、入居者一人ひとりのペースを大切に、見守り介助に徹している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に3回、ホームで好きなものを作って食す機会はあるが、昼食と夕食は、併設のデイサービスで調理されたものを提供している。訪問調査日のプリ大根は冷めて固く、残した入居者も見受けられた。		入居者も手伝って食事を作り、温かいものを頂くようにすることが望まれる。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間に制約は無い。夕食後でも遅番職員が介助して入浴していただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者のために何が出来るかを職員は常に考えている。一人一鉢自分の名前を付けて花の栽培をしている。他にも、掃除、手芸、裁縫など、得意なことに活躍の場を見出して貰っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	レクリエーション担当職員が外出の支援をしている。行事の写真は入居者個別のアルバムに貼り、面会時に家族に見てもらっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関の鍵はかけていない。外に出るときは事務所前を必ず通るので、入居者が一人で外に行ってしまうようになったらすぐに気づくようになっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消火器の取扱い方、担架で運び出すなど、入居者も参加して避難訓練している。夜間帯を想定した訓練を、消防署の指導のもと、事務所、デイセンターと共に行うことを予定している。地域の自治会長には運営推進会議の場で協力をお願いしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は入居者個々に明記している。食事は入居者の状態によって、一口ずつ切り分けたり、おかゆ、刻み、ミキサーなどで摂取しやすくしている。食欲の無い場合は栄養ドリンク、アイスクリーム、プリンなどで補食することもある。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関はデイサービスと共通となっている。ホーム内は季節の花が飾られ、リビングはロールカーテンで日の入り具合を調節している。クリスマスの飾りが温かい雰囲気をかもし出していた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド、カーテン、空調以外は在宅当時の馴染みの品を家族と相談して持ち込み、安心して過ごせるよう配慮されている。		